

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：和東町

プロジェクト名	安全で快適なまちづくりプロジェクト	実施期間	平成27年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の基幹産業は農業であるが、有害鳥獣による農作物の食害や人への危害が増加している。食害による被害額は高額であり、農家の生活基盤である農業を、有害鳥獣食害から守り、より安全で快適な生産環境を整備することが求められる。</p> <p>また、近年では豪雨の発生が多く、町の至る所で被害が発生し、災害に強いまちづくりの必要性が高まっており、防災ネットワークの強化、災害時の避難場所となる公共施設の設備充実や耐震設計、災害用備品の整備等により、より安心・安全なまちづくりを進める必要がある。</p> <p>さらに、京都府景観資産登録第一号に認定された「茶畑景観」や豊かな景観を保護するため、町自ら率先してゴミの焼却処理やゴミの減量化、不法投棄防止対策に取り組み、住民の環境保全に対する意識向上を図る必要がある。</p> <p>以上のことから、農業、災害、環境の課題に取り組むことにより、誰もが安心して住むことができる、安全かつ快適なまちづくりを進める。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による食害から農作物を守るため、有害鳥獣の捕獲を行う。 ・近年増加している災害から住民の暮らしを守るため、防災整備を実施するとともに、非常時に備えて必要な資器材、食料を備蓄する。 ・豊かな自然と住環境を守るため、広域林道の除草、不法投棄防止やゴミ減量化などの環境美化活動を促進する。 						
	総事業費（千円）	17,515	本年度事業費（千円）	17,515	交付金額（千円）	8,202	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	広域林道美化事業	交付対象事業	広域林道のごみ不法投棄防止と各林道の除草作業	不法投棄防止看板による啓発を図るとともに、落葉・土砂の撤去、倒木処理、木や枝の伐採により通行の安全性を確保した。 箇所数：林道2線			
	災害時物資備蓄強化事業	交付対象事業	非常時に備えて食料、生活必需品及び災害応急対策に必要な資器材を備蓄	非常時に備えて、生活必需品や資器材を整備した。 ・小型動力ポンプ・消防ホース・ハンドメガホン・備蓄食品（缶入りパン）など			
	有害鳥獣危険個体捕獲	交付対象事業	近年凶暴な猿が増加する中、住民への危害を未然に防ぐため捕獲する	被害を未然に防止するため猿を捕獲した。 捕獲数：10頭			
	河川浚渫等整備事業	交付対象事業	豪雨等による河川増水時の氾濫を未然に防ぐため浚渫工事等を実施する	洪水の危険性がある河川の改良工事を行い、災害による被害の防止を図った。			
	防災行政無線保守点検事業	交付対象事業	住民の安心・安全を守る防災行政無線の保守点検事業	正確な災害情報を地域住民へ迅速に伝達することで、災害による被害を減らすとともに、安心安全な暮らしを確保した。			
	避難拠点施設改修設計事業	交付対象事業	住民の安心・安全を守るため、避難拠点施設（人権ふれあいセンター）改修設計業務	適切な避難拠点整備に向けた、整備計画を策定した。			
住民 協働 事業	不法投棄防止事業	交付対象事業	不法投棄を未然に防止するためパトロールの実施、清掃作業	産業廃棄物不法投棄等の不適正処理を未然に防止するため、週4～5回のパトロール及び清掃活動を実施し、快適な環境を創出した。			
	有害鳥獣食害対策事業	交付対象事業	農作物を有害鳥獣の食害から守るため電柵等を設置する	電柵などの設置により鳥獣による食害を防ぎ、生産環境の整備につながった。			
住民が 取り組む 事業	ごみ減量化推進事業	交付対象事業	一般廃棄物の内、リサイクル可能な資源ゴミ(古紙、古布等)に対して補助	各自治会、老人クラブ等の協力により資源ゴミをリサイクルした。回収量：167,169kg			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：和東町

成果指標①	成果指標の目標数値	■ ゴミ減量推進事業 資源ゴミ回収量H26 176t → H27 20		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	■ 資源ゴミ回収量 H27 → 167t	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	可燃ゴミの総量自体が減少しており、その結果回収量が成果指標に達しなかったと考えられる。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	■ 有害鳥獣による被害額 H26 12,033,357円 → H27 10,000,000円		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	■ 有害鳥獣捕獲による被害額 H27 11,787,351円	
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	猿の被害の拡大に対し、個体の捕獲が追いつかなかったため。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	・資源ゴミとして再生利用可能なものは、地域で回収し資源として有効利用することの促進につながった。今後は、資源ゴミとしての回収に加え、一般廃棄物の量そのものを減らすような取り組みも課題となる。 ・有害鳥獣による被害額が横ばいのため、今後は有害鳥獣の捕獲方法などをより効率的なものにしていく必要がある。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果					
	府と市町村等との連携に資する成果					
	住民の自治意識を高める成果	・古紙回収に住民全体で取り組むことにより、環境美化・保全への意識を高めることができた。 ・防災行政無線による迅速な災害情報の伝達により、住民の防災意識の向上が図られた。				
	リーディング・モデル成果					
	広域的波及成果	・資源ゴミを回収し循環型社会の形成に向けて取り組むことで、ゴミ処理施設の運転に係わる負担軽減とともに、環境保全の意識向上につながった。				
	行財政改革に資する成果	ゴミの減量化を実現することで、ゴミ処理に係わって搬入割という形で支払っている分担金の削減につながった。				
	その他の成果					

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。